

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">所管課</td> <td>健康づくり課</td> </tr> <tr> <td>担 当</td> <td>健康増進G 佐熊</td> </tr> </table>	所管課	健康づくり課	担 当	健康増進G 佐熊
所管課	健康づくり課				
担 当	健康増進G 佐熊				
会議名 (審議会等名)	令和6年度第1回嬉野市健康づくり推進協議会				
開催日時	令和6年7月3日 14:00～15:30				
開催場所	塩田保健センター2階会議室				
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 不可 <input type="radio"/> 一部不可	傍聴者数	1 人		
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由					
出 席 者	委 員	樋口正晃委員 (会長) 中里栄介委員 (代理) 田邊章弘委員 川原みさ子委員 田中恭子委員 松尾尚子委員	北雄一朗委員 (副会長) 宮原昭委員 小笠原傳次委員 山口久義委員 古賀一也委員 諸岡博子委員 小佐々徹正委員		
	事務局	健康づくり課			
	その他				
会議の議題	別紙資料のとおり				
配布資料	「協議会資料」 資料1・2				
審議等の内容	別紙のとおり				

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
議 題	内 容	(1) 委嘱状交付 (2) 会長及び副会長の選出 (3) 協議事項 ①令和5年度保健事業実績について(資料1) ②令和6年度保健事業計画について(資料2)	
内 容	事前に資料を送付し、協議事項について担当課から説明の後、意見を聴取		
審 議 経 過		会長及び副会長の選出(事務局推薦で承認)	
	委員	配付資料と令和5年度保健事業実績について事務局より説明 16ページの健康マイレージ事業ということで興味深くお聞きしたんですけどもこのチャレンジシートっていう中身はどういったことが記載されてるんでしょうか？	
	事務局	まず、必須項目として、特定健診の受診をしていただくこと、そして、がん検診の受診をしていただくこと、そして自主的な健康作りの取り組みとして、例えば健康ジムに通っているとか、自分で目標を決めて1日5000歩～6000歩以上歩くとか自分自身で目標を立てて実践してもらうということでポイントをつけていくようにしております。	
	委員	面白いですねこれは。それと11ページ目の子宮頸がんワクチンですね。ウイルス感染症の方でこれが154名と、キャッチアップの方が172名ってことなんですけど大体割合にすると何%ぐらいの方が接種されていることなりますか。	
	事務局	定期予防接種の対象者の方が490名でそのうち154名の接種ですので、40%ぐらいでしょうか。そしてキャッチアップ対象の方が623名中174名の接種となっています。	
委員	今日ご参加いただいています養護の先生、学校では実際どうですか。対		

		象の年齢のお子さんたちから何か問い合わせの方はありますか。
	委員	私の方にはあんまり、まっすぐ病院に個別接種に行っているの、受けてきたねって把握はしてます。あと、性に関する指導っていうのをしていただいたんですけどそのときに写真や声掛けもしていただいたりはしています。
	事務局	定期の予防接種の対象の方は 31.4%です。 キャッチアップの方は 27.6%です。
	委員	これどうですか増えてきてますか。
	事務局	横ばいです。ここ数年積極的に個別通知をしております副反応に対するご意見等も上がって来てない状況です。
	委員	3 ページの任意接種の中で、インフルエンザ助成額が新型コロナウイルス感染症予防のため上限額を 1000 円から 2000 円引き上げということで記載をされておりました。また来年度も 1000 円とあります。毎年動いているのかどうなのか詳しい説明があればお願いしたいと思います。
	事務局	任意接種の子供等のインフルエンザの費用助成については、基本的には 1000 円の助成ということで予定をしていますが、令和 4 年度につきましては、コロナの感染がありましたので、同時感染が増えて医療機関の方も混乱するし住民の方々も大変な思いをすることということで、少しでも予防接種を受けていただきたいということで国からのコロナの交付金等を活用して 2000 円助成ということにさせていただきました。 令和 5 年度につきましては、燃料費高騰分ということで国からの助成がありましたので、やはり 2000 円ということで、令和 5 年度も上げていただいております。令和 6 年度は検討中です。
		令和 6 年度保健事業計画について事務局からの説明
	委員	特定健診の 21 ページ（実績）です。特定健診の受診率が平成 29 年は 44%で平成 30 年が 44.7%令和元年に 50.3%と上がって令和 2 年の 50.1%でだんだん下がってきている。この辺の分析はされてるんでしょうか？
	事務局	未受診者勧奨に力を入れた時期が令和元年度です。平成 29 年平成 30 年度までは健康づくり課の方で未受診者勧奨の通知をしておりましたが委託事業者に委託して勧奨の回数が増え、情報提供を行うような呼びかけができたなどの理由だと予測しております。令和 3 年度以降、受診

		<p>率が低下してしまっているのはおそらくコロナの影響が大きいのではないかと考えております。</p>
委員		<p>受診の勧奨はまた、再開される予定ですか？</p>
事務局		<p>受診の勧奨については引き続き業者とともに勧奨を続けていくことと、若い方にも受診をしていただきたいので、Web 申し込みを可能にするなどの受診しやすい環境作りを実施していく予定です。</p>
委員		<p>実績報告のときに特定保健指導の受診率が上がってきているのがとても気になっていたんですけども 22 ページのところの説明をしまして今年度の計画のところ 13 ページのところですが、受診者対策として受診に繋がりやすい方約 120 人の電話による受診勧奨って書いてあるのでこの辺が増えてるんだなというふうには思っておりました。さっきのお話の中に委託をされたっていうのがあったんですけど、この職員さんが電話をかけられる予定でしょうか？</p>
事務局		<p>受診に繋がりやすい方の選別を委託業者に選定していただいて優先順位の高い方から市の職員が直接お電話をかけて呼びかけを行うという流れで実施していきます。</p>
委員		<p>特定健診についてですけど、22 ページの二次検診の対象者が 40 人受診されたっていうことなんですけど対象者は大体何人ぐらいでしょうか？二次検診ということは企業でしたら受診を勧めるアプローチをするんですけどそのとき受診はどうされてるんですかとアンケートを取ったりしますが、二次検診の対策ということでお聞かせください。</p>
事務局		<p>特定健診の対象者数は国保加入の方で 40 歳～74 歳以下の方の 3594 人になります。対象者のうち特定健診を受診した人が 1764 名これが令和 4 年度の確定した数字となります。1764 名の方のうち、この二次検診の対象となる方は、特定健診のヘモグロビン A1C という数値が 5.6%以上の 6.4%以下あるいは空腹時の血糖値がご覧の内容の方です。75g 糖負荷試験、頸動脈の超音波検査、アルブミン尿検査という内容で対象者に行っています。企業で実施される分も同じような内容と思われます。</p>
委員		<p>医療関係の方にご質問したいと思いますが、佐賀県は糖尿病が多いとか、高血圧が多いとか、ワースト上位に喫煙者も多いですよ。特に生活習慣病が多いという原因は、たくさんあると思いますが、主にどんなところでしょうか。</p>

委員	<p>これは僕自身も反省を込めてお答えしたいですけど、福岡や東京で働いているときと比べると、やっぱり歩かなくなってしまったんですね。全然歩いてない。車で移動することが多いので、運動量が落ちてしまったという状況ですね。佐賀の方は若い方も脂肪肝、脂質異常で肝機能障害の方っていうのもいらっしゃるってやはりそれは運動不足からも影響すると思いますし、アルコール摂取そして脂質系の問題っていうのがベースにあると思うんですね。あとは、減塩もやっぱり必要なと思います。今回のB型肝炎も肝機能障害の方の中にB型C型はその中に絡めてチェックしておくことで少しでも早期の発見に繋がると思っています。</p>
委員	<p>二次検診のHbA1cが5.6から6.4%以下の場合、血糖値が100から125以下の場合ですが、若い人は病院に受診されなくて、これ以上高い人がかなりいると思うんですが、これにはどういう風な対応されていますか？</p>
事務局	<p>若い方をどうするかということは、常々頭を抱えているところです。40代50代の男性、女性も受診率がなかなか伸びない。それは仕事で忙しいからという理由からですが、まずは定期受診に繋げていくところが目標で毎年嬉野市商工会の方にご協力をいただいて、会員の皆様に周知していただいています。また、健康マイレージ事業で健康づくりを必須の項目として特定健診の受診をあげたり、若い人にはスマートフォンを使って予約をすとか、電話で健診受けておられませんよとかですね。そういうような働きかけがうまく繋がれば受診率アップに繋がって、必要な人には特定保健指導を電話でアポイントメントをとっております。仕事の合間や仕事終わってから、あとは日曜日とかにも保健指導の実施をする期間を設けておりますので、そこに来ていただくようにして二次検診に繋げるというようなことを目標に据えながら年間の計画を立てているところです。</p>
委員	<p>若い方で特定健診を受けられた。例えばHbA1cが7も8ある人はどういう風にバックアップされていくのでしょうか。</p>
事務局	<p>二次検診の対象者に数値として当てはまらない人は、精密検査受診票を送ることになっております。取りこぼしのないようにしております。</p>
委員	<p>私も、受診がとても大事だと思います。早期発見で早く病気を治せば医療費も軽減されます。だから嬉野市のためにもなります。しかし、受診の前にやることがあると思うんですよ。先ほど話がありましたように、佐賀県は運動不足で歩かない県民だそうです全国一だそうです。ですから佐賀県を挙げて県の事業があったとき私達参加をいたしました。「歩</p>

